

学校教育目標	○自分の良さや可能性を高める学びを大切にします。(知) ○豊かな心と体で他を思いやることのできる人間性を大切にします。(徳・体) ○自ら判断し、責任をもって行動する力を大切にします。(公・開)				
	創立 74 周年 児童生徒数: 701 人	学校長 石崎 一敏 主な関係校: 山内小学校、元石川小学校、新石川小学校、美しが丘西小学校	副校長 鬼丸 玲子	2 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 2

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	山内中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈主体的に学ぶ姿勢〉 〈課題設定・課題解決能力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する態度〉	山内小学校 元石川小学校 新石川小学校 美しが丘西小学校 山内中学校	・互いに尊重し合い、思いやりと感謝の気持ちを大切にできる。 ・主体的に学び社会の一員として判断し責任をもって行動できる。 ・小中一貫会議や専任会、教務主任会、PTAを含めた5校協議会などを通して、ブロック内で足並みをそろえて児童生徒に向き合い、教育活動を展開する。・ブロック内の授業研を推進し、育成すべき資質・能力の明確化とその育成に向けての授業づくりを推進する。・児童生徒指導や特別支援教育に関する情報交換・情報共有・ケース会議等を推進する。

中期取組目標	○全教職員が一丸となって、チームとして機能する活力と魅力のある学校づくりを目指します。 ・教育課程全体を通して育成すべき資質・能力を育て、自らの課題の設定・解決に向けた主体的な学びを目指します。 ・人権を尊重し、自分と仲間を大切に、互いの良さを認め合える集団づくりを目指します。 ・地域の教育力と連携しキャリア教育を推進し、社会の創造に貢献する態度や「生きる力」の育成を目指します。 ・授業や学校行事、部活動を通して、継続的な体力向上に取り組み、心身ともに健康な個と集団の育成を目指します。 ・様々な他機関との連携、繋がりを大切にした教育を推進し、保護者や地域から信頼される学校づくりを目指します。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 学習指導部	①校内授業研や小中ブロック授業研等を通して授業公開し、生徒が主体的に取り組む授業を目指す。②少人数やTT授業等を通して基礎基本の定着やきめ細かな学習支援の充実を目指す。③単元の中で、計画的・意識的に生徒の思考力・表現力を育成する。④学校評価による授業改善を行う。
豊かな心 担当 道徳・人権担当	①道徳科を中心に全ての教育活動を通して豊かな心の育成を意識的に取組む。②学校行事や部活動を通して仲間と心から向き合うことを大切に、人権作文や福祉体験等を通して多様な価値観、人権感覚を育む。③小中交流や地区懇談会、PTA祭など地域とふれ合う活動を大切にする。
健やかな体 担当 保健安全指導部、保健体育科	①授業を通して発達段階に応じた補強運動を行い総合的な体力向上を目指す。②運動の楽しさ、身体を動かすことの意味を理解させ、体育的行事や部活動、地域スポーツ等に積極的に参加できる生徒を育成する。③自己の健康管理と、仲間の体調にも気づける生徒を育成する。
生徒指導 担当 生徒指導部	①定期的な教育相談日設定といじめアンケート実施により、生徒が発するSOSをいち早くキャッチできる指導体制を整え、感性と初動を大切に、組織的に取り組む。②生命、安心安全を最優先し、迅速な報告・連絡・相談・記録を怠らない。③研修会を複数回実施し組織的な対応を目指す。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①特別支援委員会及び金1情報交換会の定期開催と充実を図り、配慮を要する生徒に寄り添ったきめ細かい対応を進める。②カウンセラーや関係機関と密な連携を取りながら適切な支援方法を探り、指導の充実を図る。③定期的な講師招聘型の校内研修会を通して支援や指導の充実を図る。
地域連携 担当 総務部(地域連携)	①学地連携事業を中心に児童生徒も参加する地区懇談会や地域清掃などを推進する。②生徒が地域防災訓練や地域行事などに参加し、保護者や地域の方との関わりながら郷土愛や自立精神を育成する。③定期的な「まち懇」の実施や主任児童委員の方々の授業参観等の充実。
キャリア教育 担当 教育課程委、総合担当	①地域の教育力をいかし、1年職業講演会、2年職場体験学習、3年進路学習や主権者教育を実施し、社会人としての基礎や生きる力の育成を図る。②校内フロアや図書館に進路情報コーナーを設け、生徒が必要な情報をいつでも得ることができる。③キャリア教育についての情報発信を進める。
教育課程 担当 教育課程委員会	育成すべき資質・能力を明確化し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するため、①学校評価を活用したカリキュラム・マネジメントの推進。②小中ブロックを活用した共通した資質・能力の育成。③キャリア教育等を通じた理念「社会に開かれた教育課程」の具現化。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①「いじめは絶対に許さない」意識を徹底し、未然防止、早期発見、早期解決に組織的に取り組む。②いじめ防止対策委員会による迅速、確実な情報共有と対応。③研修会等を通していじめに対する感度を上げる。④定期アンケートと面談を実施し実態把握に努め、保護者との連携をとる。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 総務部、企画会	①講師を招聘し研究授業や課題研修を計画的に実施しキャリアステージに応じた教師力向上を目指す。②管理職、主幹によるタイムリーなミニ研修会の実施。③校務分掌改善と組織の効果的運営を図り、教職員の学校運営への参画意識を高める。④職員室Aの活用、部活動休養日設定、閉庁期間拡大、留守電設定など働き方改革を推進。